



自衛隊埼玉地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCES SAITAMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

自衛隊家族会朝霞地区協議会の宇都宮駐屯地見学について ～隊員の活動について理解を促進～

自衛隊埼玉地方協力本部（本部長 林 弘之1等空佐）朝霞地域事務所は、令和7年12月10日（水）に埼玉県自衛隊家族会朝霞地区協議会（会長 草野光子氏）による陸上自衛隊宇都宮駐屯地部隊見学を支援した。

当日は、宇都宮駐屯地広報室長 大美賀3尉の案内により、駐屯地所在部隊の中央即応連隊が保有する軽装甲機動車や東部方面特科隊第2大隊が保有する榴弾砲FH-70など主要装備品の展示説明を受けた。

隊員食堂での体験喫食では隊員の間でも人気の高い『釜揚げしらす丼』が提供され、参加者から「非常に美味しい」といった感想をいただき高い評価を得た。

防衛資料館の見学では、旧陸軍時代から続く貴重な史料や駐屯地が歩んできた変遷の記録を熱心に辿っていた。また、参加者のご息2名がこの駐屯地で勤務しており、直接会い激励することができた。参加者からは「日頃の隊員の活動を身近に目にするのができて良かった」「これからも自衛隊の活動をPRしていきたい」といった声をいただいた。

自衛隊埼玉地方協力本部はこれからも家族会と連携を図り、自衛隊に対する理解促進と募集基盤の強化を図っていく。



令和7年度予備自衛官補辞令書交付式 「予備自衛官補への期待の高まりと要望」

自衛隊埼玉地方協力本部（本部長 林 弘之1等空佐）は、令和7年12月20日（土）、同年12月18日付で採用された予備自衛官補13名（技能6名、一般7名）の辞令書交付式を実施した。

本部長は、訓示で「我が国を取り巻く厳しい安全保障環境において、常備自衛官とは別に訓練された予備自衛官や、予備自衛官任用のため教育訓練に励む予備自衛官補の存在は周辺諸国に対し強いメッセージになる。皆さんの国防に対する高い志が教育訓練を通じてより深まり、無事教育訓練を終了し、予備自衛官等へ任用されることを祈念します。」と激励をした。

式のあとは、援護課予備自衛官室が予備自補の教育訓練の概要や、今後、行われる教育訓練への出頭要領などの説明を実施して、訓練出頭に向けての不安の払拭、訓練出頭意欲の向上、予備自衛官等制度への理解促進を図った。

自衛隊埼玉地方協力本部は、「今後も予備自衛官補が予備自衛官任用に向けて安心して訓練に出頭できるよう丁寧に対応し、サポートを続けていく。」としている。

